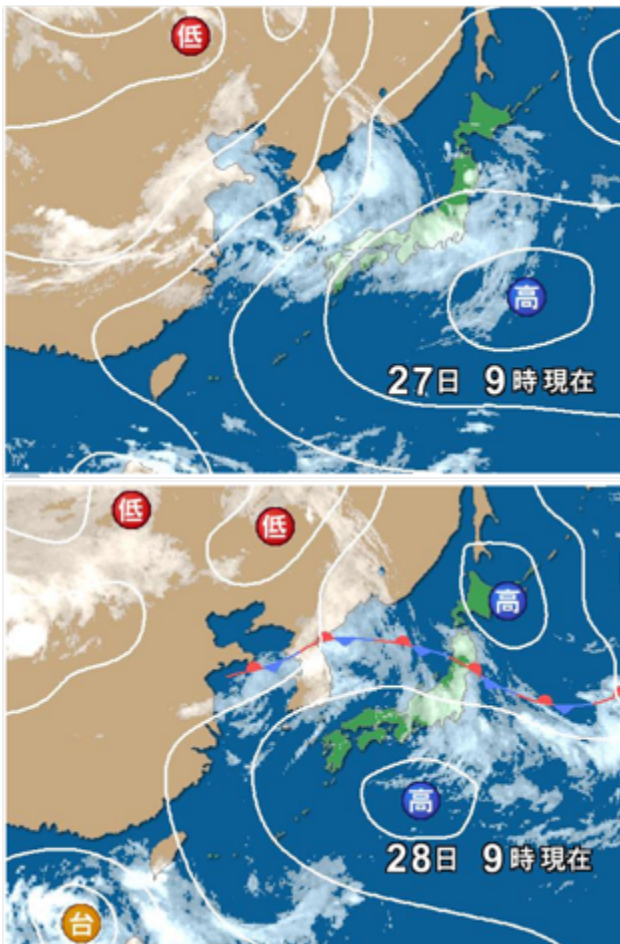


11/07/27  
No.112

# NewStage60

K U W V  
白山南竜

老いても元気はつらつ 南竜ヶ馬場に KUWVワンダラーが集う!



今年の梅雨は、例年よりも1週間くらい早くあけ、今は真夏のはずだが、天気図では、梅雨のような停滞前線が現れている。そのため、新潟・福島中心に記録的な豪雨で、河川の氾濫や土砂崩れ、冠水で、被害も甚大だ。

## 東山茶屋街でKUWV懇親会

今回の帰省で、もうひとつ楽しい会が設定された。7月23日(土)金沢東山茶屋街・蜚屋で、KUWVの先輩方の山村さん、穴田さん、玉野さん、野村さんとの懇親会だ。

たっぷり語らうことができ、おいしいお酒と料理も堪能できた。声をかけていただいた先輩方に感謝しています。

50年近く前の大学時代、若者たちは、重い荷物を担ぎながら、北アルプス・南アルプスを中心に、全国の山々を歩きまわったものだ。

その若者たちは社会に旅立ち、それぞれの道で踏ん張ってきた。仕事、子育てに全力投球をしてきたであろう。そして一定の役割を成し遂げて、会社は定年に。子供たちは育って、独立。彼らは年金族になるまでに歳をとったが、まだまだ元気だ。『もう一度、山を楽しもう』と、彼らは躊躇することなく、再び山に向かいはじめたのだ。

山村さんの声かけで、毎夏、白山の南竜ヶ馬場に集まっている。そして、3年目の今年も13名のワンダラーが、集まってきた。

## 一昨年到现在も雨だ!

小生、一昨年も参加し、すごい雨降りであったが、今年も同じようにひどい雨である。

1泊目に集まった11名のうち小生を除く10名は昨年も参加しており、好天であったという。雨男のレッテルを頂戴したくないが、無情の雨だ。



## 第1日目 7月27日(水)



### 山村車4人組で南竜へ

山村さんが、早朝真っ暗な時間帯に、3人を次々とピックアップして、別当出合に向かう。別当出合から4名歩調をそろえて、南竜ヶ馬場へ。山の鉄則の早朝出発であったので、目的地に着くまでは、雨はそれ程でもなかった。到着後、天気は崩れる一方。

(今回のPWは各自の責任で南竜に集まる方式)

### 雨の中、続々集合!

予定の参加者全員が、この雨の中、南竜に続々到着した。さすが50年前に鍛えた財産をフル稼働させれば、こんな雨には負けないワンダラー達だ。



28日29日も南竜を堪能した面々…瞬間晴れ間もあったようだが、室内行動が中心だった模様。

### 私の山行日程

#### 7月27日(水) 曇のち雨

- 4:20 上荒屋  
山村さんの車に便乗
- 6:33 別当出合発(登山開始)
- 7:11 中飯場
- 9:08 甚之助避難小屋
- 10:05 南竜分岐
- 10:38 南竜山荘着
- 12:35 ケビンに移る

#### 7月28日(木) 雨

- 8:30 ケビン発
- 8:45 南竜山荘
- 9:02 甚之助避難小屋
- 9:58 別当出合着
- ・他の方々は、28日も南竜に宿泊。小生一人で下山。

参加者  
敬称略順不同  
13名  
田村昭夫  
吉村弘二  
穴田昭一  
伊豫欣二  
藤井信晴  
山村嘉一  
谷道正晴  
鍋島武  
保田敦  
山中重夫  
吉田幸造  
山西久美子  
山西潤一



## 第2日目 7月28日(木)

### 風雨の中 一人慎重に下る!

皆さんは29日下山であるが、小生一人のみ、仕事の関係で下山。風雨の激しい中、南竜を出発。雨の中の下りなので、いつも以上に気をつけての下りで、無事、別当出合に到着。別当出合から、予約済みの車で、小松空港へ。途中で、温泉タイム45分も設けてくれて、大満足。

# 可憐な花と野獣たち

## 南童はお花の宝庫だ



今号の写真提供者  
山村嘉一さん  
ありがとうございます